

人のいるところには
夢がいる。



JAPAN ARTS



©Frank Stewart

イエフイム・ブロンフマン

ピアノ・リサイタル

Yefim Bronfman
Piano Recital

2025年9月16日(火) 19:00 開演
東京オペラシティ コンサートホール

7:00p.m., Tuesday, September 16, 2025 at Tokyo Opera City Concert Hall

主催: ジャパン・アーツ



令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

シューマン：アラベスク ハ長調 Op.18

R. Schumann: Arabeske in C major, Op.18

ブラームス：ピアノ・ソナタ第3番 ヘ短調 Op.5

J. Brahms: Piano Sonata No.3 in F minor, Op.5

第1楽章：アレグロ・マエストーソ	1 st Mov.: Allegro maestoso
第2楽章：アンダンテ・エスプレッシーヴォ	2 nd Mov.: Andante espressivo
第3楽章：スケルツォ、アレグロ・エネルジコ	3 rd Mov.: Scherzo. Allegro energico
第4楽章：「間奏曲」、アンダンテ・モルト	4 th Mov.: Intermezzo. Andante molto
第5楽章：アレグロ・モデラート・マ・ルバート	5 th Mov.: Allegro moderato ma rubato

* * * * *

ドビュッシー：《映像》第2集

C. Debussy: Images 2

第1曲：「葉陰をもれる鐘の音」	I: Cloches à travers les feuilles
第2曲：「しかも月は廃寺に落ちる」	II: Et la lune descend sur le temple qui fut
第3曲：「金色の魚」	III: Poissons d'or

プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 Op.83「戦争ソナタ」

S. Prokofiev: Piano Sonata No.7 in B-flat major, Op.83

第1楽章：アレグロ・インクイエート	1 st Mov.: Allegro inquieto
第2楽章：アンダンテ・カロロソ	2 nd Mov.: Andante caloroso
第3楽章：プレチピタート	3 rd Mov.: Precipitato

イエフィム・ブロンフマン 2025年9月 日本公演スケジュール

9月13日(土)	〔東京〕 NHKホール	主催:NHK/NHK交響楽団 ★
9月14日(日)	〔東京〕 NHKホール	主催:NHK/NHK交響楽団 ★
9月16日(火)	〔東京〕 東京オペラシティ コンサートホール	主催:ジャパン・アーツ

★ NHK交響楽団との共演(指揮:ファビオ・ルイーダ)

イエフィム・ブロンフマン (ピアノ)

Yefim Bronfman, Piano



© Sebastian Widmann

現代を代表する世界的ピアニストの一人として高く評価され、各地の音楽祭への出演、数多くのオーケストラ、指揮者との共演、また、リサイタル・シリーズの開催など常に世界中から求められる稀有な存在である。圧倒的な技巧、力強さ、卓越した叙情性は、常に聴衆やメディアから称賛を集めている。

2025/26シーズンは、ヴェイル、タングルウッド、アスペンでの夏の音楽祭出演に続き、中国、日本、韓国を含むアジアでの大規模なリサイタル、オーケストラ・ツアーで幕を開けた。ヨーロッパでは、ロンドン、クリスチャンサン、パリ、ベルリン、アムステルダム、ドレスデンの各地でオーケストラと共演し、さらにイスラエル・フィルとのツアーも予定されている。また、継続中のアンネ=ゾフィー・ムター、パブロ・フェランデスとの特別なトリオ・プロジェクトも、2025年秋にスイス、スペイン、ドイツ、フランスでの公演が行われる。北米では、ニューヨーク、ロチェスター、クリーヴランド、ピッツバーグ、カンザスシティ、モントリオールで

オーケストラと共演するほか、リサイタルではプラハ、ミラノ、ニューヨーク、ニューポート、ビーコン、ロサンゼルス、サンフランシスコ、サンディエゴ、オレンジ・カウンティ、シャーロットビル、トロントでの演奏が予定されている。

旧ソビエト連邦のタシケント生まれ。1973年に家族とともにイスラエルに移住し、テルアビブ大学ルービン音楽院の学長でもあったピアニスト、アリエ・ヴァルディに師事する。米国ではジュリアード音楽院、マルボロ音楽学校、カーティス音楽院で学び、ルドルフ・フィルクスニー、レオン・フライシャー、ルドルフ・ゼルキンに師事。荣誉あるエイヴリー・フィッシャー賞の受賞者であり、2010年にノースウェスト大学からピアノ演奏におけるジーン・ギンベル・レーン賞を、2015年にマンハッタン音楽学校より名誉博士号を授与されている。

オフィシャルホームページ <https://yefim-bronfman.com/>

Yefim Bronfman,
Piano

原 明美(音楽評論家) *Akemi Hara*

シューマン：アラベスク ハ長調 Op.18

ドイツ・ロマン派の作曲家ロベルト・シューマン(1810-56)は、20歳代の10年間、ピアノ曲の創作に集中的に取り組み、約30曲のピアノ曲を書きあげた。「アラベスク」は彼独特の、たゆたうようなロマンティシズムにあふれた小品であり、1839年に作曲され、ゼッレ陸軍少佐夫人に献呈された。「アラベスク」とは「アラビア風の」という意味で、アラビアの工芸品や建築に見られる唐草模様を指すが、装飾的で幻想的な性格を持つ楽曲の標題としても用いられていた。シューマンのこの曲は、六つの部分が切れ目なく続く構成による。とりとめのない楽想が、装飾に彩られながら続き、全体に夢幻的な雰囲気醸し出している。

ブラームス：ピアノ・ソナタ第3番 ヘ短調 Op.5

ドイツ・ロマン派の作曲家ヨハネス・ブラームス(1833-97)の残した3曲のピアノ・ソナタは、いずれも彼の若いころ、20歳までの間に完成された。3曲とも、壮大な構想が注目される作品であり、若々しい情熱にあふれている。なお、その後のブラームスのピアノ曲にはソナタは含まれず、変奏曲や小品集に集中することとなる。

ブラームスの3曲のピアノ・ソナタのなかで、最も充実した内容を持ち、また、ロマンティックな性格が特に色濃い第3番は、1853年に完成され、ホーエンタール伯爵夫人に献呈された。全曲の公開初演は、1863年にウィーンで、ブラームス自身のピアノで行われたという。曲は、次の五つの楽章から成る。

第1楽章：アレグロ・マエストーソ。ヘ短調、ソナタ形式。ピアノの広い音域を活かした、高らかな響きを持つ第1主題に始まる。一方、第2主題は、叙情的な味わいを印象づけながら、転調を重ねてゆく。

第2楽章：アンダンテ・エスプレッシヴォ。変イ長調、3部形式。シュテルナウの詩『若き恋』にインスピレーションを得て作曲された。曲の譜面にも掲げられたその詩の内容は、「たそがれせまり 月影かがやく。ここに二つの心 愛にて結ばれ たがいによりそい抱き合う」(訳：門馬直美、音楽之友社『名曲解説全集』より)というもの。若者の恋心をうたったこの詩の情景が思い浮かぶような、優美でロマンティックな音楽である。

第3楽章：スケルツォ、アレグロ・エネルジコ。ヘ短調、3部形式。主部のスケルツォ主題が、デモーニッシュかつ陰鬱な雰囲気を漂わせる。

第4楽章：「間奏曲」、アンダンテ・モルト。変ロ短調。「回顧」という副題も付いており、第2楽章の叙情性を受け継いだ楽章である。

第5楽章：アレグロ・モデラート・マルバート。ヘ短調、ロンド形式。舞曲風の主題に始まり、曲想が次々と変幻する。最後は長調となって、力強く締めくくられる。

ドビュッシー：《映像》第2集

フランスの作曲家クロード・アシル・ドビュッシー(1862-1918)は、水や光などの自然の世界を、音楽のなかで独自にイメージした。彼のピアノ作品には、「映像(イマージュ=イメージ)」と題する曲集が2集ある。続く第3集も、2台ピアノのために予定されたが、これは完成せず、第3集はオーケストラ曲として作曲された。なお近年、第1集より先に作られていた、もうひとつの「映像」が発見され、「(忘れられていた)映像」として出版されている。

1905年に作曲された第1集、1907年に作曲された第2集とも、ドビュッシー独自のピアノズムを確立した傑作のひとつとして、のちの「前奏曲集」につながる重要な曲集であり、それぞれ3曲から構成されている。今回演奏される第2集の内訳は、次のとおりである。

第1曲「葉陰をもれる鐘の音」

「ゆっくりと」。全音音階や、輪郭をぼかしたような和声が効果的に響いて、木の葉の微妙な揺れや、遠くから聞こえる鐘の音を描写する。この第1曲は、彫刻家のアレクサンドル・シャルパンティエに献呈された。

第2曲「しかも月は廃寺に落ちる」

「ゆっくりと」。淡い色彩を帯び、瞑想的な雰囲気を醸し出すこの曲の標題は、作曲者の友人で中国文化の研究家でもあるルイ・ラロワの提案で付けられたという。曲も、ラロワに捧げられている。

第3曲「金色の魚」

「生き生きと」。「映像」第2集を初演したピアニストのリカルド・ビニェスに献呈されたこの曲は、音の自在な動きと、独特の色彩美を特色とする。日本の漆絵に描かれた金色の鯉にヒントを得て作曲された、とも伝えられている。

プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 Op.83「戦争ソナタ」

ピアノの名手でもあったロシアの作曲家セルゲイ・プロコフィエフ(1891-1953)は、ドビュッシーやスクリャービンらと並んで、20世紀の最も重要なピアノ曲作曲家の一人であり、彼の全作品のうち3分の1ほどは、ピアノ音楽で占められている。プロコフィエフの残した9曲のピアノ・ソナタは、5曲の協奏曲と共に、彼が得意としたピアノのために書いた主要な作品群である。ピアノ・ソナタに見られる特有の語法、また、指の動きやリズムを含めて、ピアノ演奏技法の可能性を広げようとする試みは、自身のピアニストとしての天性に由来したものと言えるだろう。

プロコフィエフの9曲のピアノ・ソナタのうち、第7番から第9番までの3曲は、第2次世界大戦のさなかに作曲されたことから、「戦争ソナタ」と呼ばれている。名作ぞろいのこの3曲のなかで、第7番は、1942年に完成され、翌1943年1月にモスクワにて、スヴァトスラフ・リヒテルによって初演された。非情なまでに隙のない構築美や、独特の緊張感を特色としており、終楽章でのエネルギー感など、特に強烈な印象を刻みつける。曲は、次の三つの楽章から成る。

第1楽章：アレグロ・インクイエート(インクイエート=「不安な、落ち着かない」)。

第2楽章：アンダンテ・カロローソ(カロローソ=「熱のこもった」)。

第3楽章：プレチピタート(性急に)。

【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。
寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。
「人のいるところには夢がある」2026年には創業50周年を迎えるジャパン・アーツの理念です。
どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、
人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。
これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに
掲載しておりますので、どうぞご覧ください。
今年も引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



アーティストサポートの詳細は
こちらをご覧ください。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 2025年度ご支援いただいた皆さま ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

<年間サポート>

【個人サポーター】

朝妻 幸雄 M.I. 岩村 和央 上村 憲裕 榎本 英二 Y.E. K.O. 大原 志津子 片山 由美子 K.K.
北村 眞 R.K. 新貝 康司 M.T. R.T. 武田 健二 伊達 朱実 田中 治郎 東條 Lilly
苫米地 英人 K.N. E.N. 児子 弥生 S.N. 長谷川 智子 T.H. 樋口 美枝子 M.H. 平山 美由紀
藤野 盾臣 細沼 康子 M.H. 松尾 芳樹 真野 美千代 三木谷 晴子 安田 牧子 山川 和子

(匿名希望 12名)

【法人サポーター】

三和プリンティング株式会社 株式会社 青林堂
三井住友カード株式会社 ロイヤルリゾート株式会社
株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント きづきアセット株式会社
株式会社ロジックアンドエモーション ライフプラン株式会社

<館野泉バースデープロジェクト「みんなで祝おう!卒寿記念コンサート」>

稲垣 美晴 えこ 上原 洋子 久間 和子 佐々木 暁子 スオミ・ピアノ・スクール研究会 鈴木 早苗
館野泉ファンクラブ 中村 康江 林 幸仁 平山 美由紀 湯本 早百合

(匿名希望 1名)

<ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

石坂 雅美 K.I. K.K. Y.K. 佐久間 隆弥 Rimiko N.S. 竹内 麻里子 中尾 圭吾 T.H.
樋口 美枝子 K.F. 細沼 康子 M.H. M.M. 水足 久美子 水足 秀一郎 口ロコミ

(匿名希望 11名)

<ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

江田 明子 T.O. K.K. 佐久間 隆弥 Rimiko M.T. 平山 美由紀 細沼 康子 M.M.
柳瀬 美佐子 口ロコミ

(匿名希望 9名)

<千住真理子に「花を贈ろう!」プロジェクト>

石坂 雅美 北村 眞 城戸 健二 桑原 仁志 小森 桂子 佐藤 亨 田中 治郎
H.H. 道又 利 村上 晃彦 横田 邦子

(匿名希望 7名)

2025年8月31日現在 敬称略

お知らせ

現在2025年度年間サポートを受付中です。詳細は、ジャパン・アーツの公式WEBサイトおよび公演チラシ挟み込みの申込用紙等をご覧ください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 TEL.03-3499-7720 (平日11:00~17:00 年末年始を除く)